

【大学間協定留学】留学報告書

記入日:2023年6月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部 経営学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ノーザン州立大学 現地言語: Northern State University
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2023年5月10日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8/22~12/14 2学期:1/9~5/5 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬~7月下旬, 2学期:9月中旬~2月上旬)
学生数	3000人
創立年	1901年

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学生のため、明治大学に納める授業料のみ
宿舍費	4,952	718,040円	秋学期:McWelsh 春学期:GPE
食費	2,432	352,640円	秋学期:1503ドル 春学期:929ドル
図書費	0	0円	
学用品費	100	14,500円	教科書代(eテキストを購入し、友人と割り勘)
携帯・インターネット費	150	21,750円	eSIMを購入
現地交通費	0	0円	キャンパス内に寮があるため、どの寮に住んでいても歩いて大学に向かえます。(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
被服費	200	29,000円	ノーザンの服や旅行に行ったときに服を買いました。
医療費	0	0円	交通事故に遭ったため、その件で病院に行きましたが、保険会社がすべて支払ってくれたため、実質0円です。
保険費	※665	96,415円	形態:明治大学推奨保険ベーシックプラン(9か月分) ※日本円で支払い
渡航旅費	6,000	870,000円	留学中の旅行(12都市)や日本⇄アメリカ間の飛行機代
ビザ申請費	※154	22,400円	※日本円で支払い
雑費	2,000	290,000円	現地での遊び(ボーリングやローラースケート、食費やお土産代、スポーツの観戦チケットなど)
その他		円	
その他		(-400,000)円	明治大学から助成金がありました 30万円(通常助成)+10万円(コロナによる円安への特別補助)
合計	15,834	2,414,745円	※1ドル=145円

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田 目的地: アバディーン 経由地: ロサンゼルス、ミネアポリス 復路 出発地: アバディーン 目的地: 羽田 経由地: ミネアポリス、ロサンゼルス、
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:ZIPAIR(成田→ロサンゼルス)、SunCountryAirlines(ロサンゼルス→ミネアポリス)、DeltaAirLines(ミネアポリス→アバディーン) 料金:710ドル 復路 航空会社:DeltaAirLines(アバディーン→ミネアポリス)、SunCountryAirlines(ミネアポリス→ロサンゼルス)、DeltaAirLines(ミネアポリス→)、DeltaAirLines(→羽田) 料金:676.97ドル ∴合計:1400ドル
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:ZIPAIR、SunCountryAirlines、DeltaAirLines の各航空会社ホームページから) <input checked="" type="checkbox"/> その他(Skyscanner)

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:McArthur-Welsh, Great Plains East) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
事前にノーザン州立大学の方から送られてくる寮の希望条件(同居人の有無、普段の寝る時間、同居人は現地の学生がいいか留学生がいいかなど)に関する書類を提出します。それを基に、大学側が寮に割り振ってくれます。 私の場合、その書類を大学に提出することを忘れており、大学に着いて初めて自分の寮を知りました。書類を提出すると、渡航前に大学側から寮についての返信があるので、事前に寮の名前や相部屋かどうかなどの情報が分かると思います。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
どの寮もキャンパス内に位置しているので、交通費や遅刻の心配はありません。実際、授業開始3分前に寮を出ても間に合います。また、ノーザン州立大学には7つの寮があるのですが、それぞれ費用が異なります。それぞれの費用については、大学のホームページに記載してあります。基本的に留学生は McArthur-Welsh Hall, Kramer Hall, Great Plains East, Great Plains Westに住んでいました。個人的なおすすめは GPE と GPW です。比較的新しい寮なのできれいですし、コスバも悪くないと思います。私は最初のセメスターを McWelsh のルームメイトなしで過ごしたのですが、この寮は一番古いので、夏は暑く、冬は寒いという状況でした。もし、寮費を一番安く抑えたいのであれば、この寮でルームメイトありを選択するのが良いですが、かなり窮屈になると思います。そのため、この寮に住むなら 1 人部屋がいいと思います。次のセメスターでは、私は GPE に移動しました。通常、ルームメイトは 1 人なのですが、大きな部屋が空いていたので、1 セメスター目で仲良くなった友達 2 人と一緒に 3 人で過ごしました。その部屋はとても広く、いつも誰かの誕生日の時に、この部屋を使っていました。GPE と GPW の大きな違いは、GPW は部屋にトイレとシャワーが付いている一方、GPE はその階の人たちで、シャワーとトイレを共有します。そのため、GPE の方が寮費は安いです。

現地情報

<p>1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)</p> <p><input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所: アバディーンとミネアポリス空港の間にあった病院) (※友人はローラースケートをした時に背中を痛めてしまったため、学校の医務室を利用していました。)</p>
<p>2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:)</p>
<p>3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</p> <p>アバディーンから離れて旅行に行く際は、一応アメリカなので用心するべきだと思いますが、アバディーンは非常に平和な地域なので犯罪などの心配はあまりありません。ですが、ほとんどの寮では、キッチンや冷蔵庫が共有であるため、自分の食べ物を入れてると、たまに盗まれることがあります。実際、私もアイスとモンスターを盗まれましたし、韓国人の友人も何か盗られていました。頻繁に盗難が起こるわけではないのですが、もし絶対に盗難を避けたい場合は、食べ物に名前を書く、ビニール袋に食べ物を入れて保管する、現地で冷蔵庫を買い、部屋に置いておくなどが有効だと思います。実際、私は食べ物をわざわざビニール袋にいれ、開けることを面倒にすることで、盗難対策をしました。</p>
<p>4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p> <p>海外における携帯電話の利用に関して、①日本で利用している携帯のプランを海外プランに変更する②日本の携帯を一時休止にし、アメリカで携帯を購入する③SIM カードを購入するなど、主に3つの方法があると思うのですが、私は現地で SIM カードを買い、使用するつもりでした。理由としては、一番安かったからです。アメリカで SIM カードを購入するにあたって、まずすべきことは日本の携帯会社の SIM ロックを解除することです。私は docomo を利用しているのですが、オンライン上で解除することができます。次に、携帯ショップ(私の場合、ドコモショップ)に行き、電話番号とメールアドレスのみ保管し、日本で使用できないプランに変更しました。ここで、注意しなければならぬことなのですが、この電話番号とメールアドレスの保管は、日付を指定して開始することができないという点です。つまり、携帯ショップで手続きした瞬間からこのプランが適用されるということです。私は、旅行前日に保管手続きをしたのですが、Wi-Fi が無いと使えない状態だったので、空港まで必要書類を再確認する際に非常に大変でした。(空港まで友達が車で送ってくれたため、ずっとテザリングしてもらっていました。)そして、ロサンゼルス空港に着いた際、すぐに SIM カードを購入しました。しかし、安いと思っていた SIM カードだったのですが、全然安くなかったため、現地に到着後、友達に勧められた e-SIM に変更しました。実際、ほとんどの留学生は e-SIM を利用していました。e-SIM とは、実際の SIM カードを必要とせずに、アメリカの回線を利用することができるものです。また、e-SIM はネット上で契約が完結するため、SIM ロックの解除後、日本で開始日を指定して契約することも可能です。私は Mint Mobile という会社の回線を利用していました。料金形態は、月4GB のプランで、約 50 ドル/3ヶ月ほどでした。当初、月4GB は少ないかなと思いましたが、どこにも旅行しないのならば、十分足りました。しかし、夏休みや冬休みにどこか旅行に行く場合は、4GB では足りないと思うので、そこは10GB のプランに変更するなどして対応するといと思います。</p>
<p>5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p> <p>現地では、ダコタバンクという銀行で口座を開設しました。ほとんどの交換留学生は地元の銀行であるダコタバンクで口座を開設していました。一部の学生は大手の CHASE などの銀行で口座を開設していました。口座開設の主な目的としては、現地到着後に支払わなければならない寮費や食費(ミールプラン)や大学内でのアルバイトの給料振込でした。最終的に私はアルバイトをしませんでしたが、おそらく給料の振込先はアメリカの銀行になると思います。実際に私の場合、寮費と食費に関しては、日本の銀行口座からアメリカの銀行口座に送金してもらい、支払いました。クレジットカードなどで支払うことは可能ですが、手数料がかなりかかるようでした。そのため、おすすめの支払い方法としては、手数料のかからない口座引き落としや e-check です。口座開設の手続きは、最初の留学生オリエンテーションでダコタバンクの人が説明をしに来てくれ、そのあと口座開設を希望する人は銀行まで車で連れて行ってもらえるため、その指示に従えば大丈夫です。また、その日中に口座開設は可能で、料金もかかりません。(銀行に 25 ドルほど現金で支払いますが、そのお金は口座内に移動されるため、実質料金はかかりません。)そして、私は留学が終わるくらいの時期に銀行に直接行き、口座を閉じる手続きをしました。友人は電話でも口座を閉じることはできると言っていました。</p>
<p>6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。</p> <p>現地に到着すると、授業が始まる前までの期間で、2~3回ほど、Walmart というスーパーマーケットに NSU の留学生担当教員が車で連れて行ってくれます。基本的に何でもそろるので、特に持っていきべきものはないかなと思いますが、友達は日本食や敷布団の下に敷く電気マットを持ってきていました。あと、イベントなどでフォーマルな格好をしなければならないことがあったので、スーツ(女性はドレス?)は意外と着ました。あとは、逆に高価な服は持って行き過ぎないほうがいいのかなと思いました。留学中に旅行などをするとそのような服を着るのですが、普段着てしまうと洗濯機や乾燥機のせいで服の劣化が早まった気がしました。</p>

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
 私たちは大学間協定留学であるため、授業料の支払いはありませんでしたが、寮費と食費は半期ごとに支払わなければなりません。方法は、現地で開設した銀行に親からお金を送金してもらい、e-check という方法で払いました。送金手数料は、日本の銀行に 3000 円くらいと現地の銀行に 2000 円くらいだと思います。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 最低履修単位数は12単位で、最大履修単位数は18単位でした。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Organizational Behavior	組織行動論
科目設置学部・研究科	BADM
履修期間	2022 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Dr. Amber M. Henderson
授業内容	講師が作成したスライドを基に組織行動の理論について学んでいく。
試験・課題など	試験は学期中に 4 回ほどあり、それが大きな点数を占めます。課題は授業中に完結するものやレポートなどが課されました。
感想を自由記入	教授が非常にやさしく、試験を別日に受けさせてくれるなどの対応もしてくれました。試験はオンライン上で行ったのですが、みんな Google などで答えを調べながら行っていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business Ethics	ビジネス倫理
科目設置学部・研究科	BADM
履修期間	2022 秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Dr. Sal Villegas
授業内容	ビジネス上で起きうる倫理的な問題などを事例を参考にしながら、理論を学んでいく授業です。
試験・課題など	学期中に 4 回の試験があります。また、それに加えて、毎週のディスカッション投稿、期末試験や期末レポート、プレゼンテーションなどの課題もありました。
感想を自由記入	教授が留学生に対して、非常に寛容で、プレゼンテーションの発表課題について、もし希望するならば、レポートに変更しても良いということを提案してくれました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Human Resource Management		人事労務管理論
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2022 秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Dr. Kristi Bockorny	
授業内容	人事労務管理論について、学外の人々のお話を聞いたりしながら、基礎から実践まで学んでいきました。	
試験・課題など	学期中に試験が 4 回と課題は隔週でレポートや軽めの課題が課されました。グループプロジェクトもあったため、プレゼンテーションの準備などで期末の頃はバタバタしていました。	
感想を自由記入	学外の人々(アバディーンにある会社の人事の人)がズームで授業に参加し、講義をしてくれたりといった理論だけではなく、社会ではどのようにその理論が応用されているのかも学ぶことができる非常に興味深いクラスでした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Sociology		社会学入門
科目設置学部・研究科	SOC	
履修期間	2022 秋	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Dr. Pamela Monaghan-Geernaert	
授業内容	社会学の基本から、理論や実例を交えた講義中心の授業でした。	
試験・課題など	試験は中間と期末の2回で、どちらもインターネットの使用が許可されていました。また、期末ごろにかなりきつめのレポートを課されました。	
感想を自由記入	この授業は、教養科目ということもあり、留学生が多く受講していた印象でした。特に出席は取らず、講義中心の授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Marketing for E-Commerce		e コマースにおけるマーケティング
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2023 春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Dr. Hannah Walters	
授業内容	現在の社会において、e コマースがどのように発展してきたのかやどのように私たちの生活を豊かにしていったのか、クラスメイトとディスカッションをしながら、学んでいきました。	
試験・課題など	試験は学期中に 4 回ありました。また、授業内で完結する課題や日頃の課題に加え、ウェブサイトを作成したり、podcast を作成する課題もあり、編集に慣れていない私は大変でした。	
感想を自由記入	ビジネスを専攻にしている留学生は、この授業を取っている人が多かったため、留学生と現地生徒がたまたま半分くらいの割合になっていました。ディスカッションの機会も多く、いろんな生徒と仲良くなったので、良かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Business Leadership		リーダーシップ論
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2023 春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Dr. Kristi Bockorny	
授業内容	講義で理論を学び、実生活でどのようにリーダーシップを実践しているのかを地域の人々と直接会って話をしたり、一緒に活動することで、リーダーシップ論を学んでいく実践理論型の授業でした。	
試験・課題など	試験は学期中に 3 回ありました。授業内で完結する課題や日頃の宿題に加え、グループプレゼンテーションや 1 時間ほどのスピーチが課されました。	
感想を自由記入	Human Resource Management の授業と同様に、学外の人々と接する機会が多い授業でした。私たちのグループは、地域の人々とイベントの会場設営や保健所の活動を助けるボランティア活動を行いました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Legal Environment of Business		ビジネスにおける法的環境論
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2023 春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Dr. Todd Muehler	
授業内容	ビジネス上の法的事例について、理論中心に学んでいく。	
試験・課題など	試験は学期中に 6 回ほどあり、課題が毎週課されます。	
感想を自由記入	特に出席点はなく、週に 1 回ケーススタディとして、クラスメイトとディスカッションする機会がありました。課題も、実際にあり得そうな状況を想定したケーススタディのような課題がであるため、その状況を想像しやすく、理解するのを助けてくれました。ただ、この授業は使われる単語や専門性から、かなり高難度のクラスであると感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Business Communications		ビジネスコミュニケーション論
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2023 春	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Dr. Amber M. Henderson	
授業内容	ビジネス上におけるコミュニケーション方法やコミュニケーションツールに関して、理論中心に学んでいく。	
試験・課題など	試験は毎週課されるオンラインのものが基本的で、それが課題としての役割にもなっていました。	
感想を自由記入	教授が途中で出産のため、入れ替わりましたが、どちらの教授も非常にやさしく、日本ではどうなの？など気軽に質問してくれました。また、グループプロジェクトもあったため、クラスメイトと仲良くなれる機会がたくさんありました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Criminal Justice		刑事司法学入門	
科目設置学部・研究科	CJUS		
履修期間	2023 春		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Dr. Chris Near		
授業内容	刑事司法学の基礎について、ビデオなども使用しながら、学んでいく。		
試験・課題など	試験は学期中に 4 回ありました。また、課題は授業内で完結するものが毎回あるのと、レポートが 4 本ありました。		
感想を自由記入	毎授業でビデオを視聴し、それに基づいたディスカッションをクラスメイトとし、課題を提出します。教養科目であったため、1 年生が多かったです。私は法律専攻ではないため、初めて聞く単語が多かったです。アメリカ内の州ごとの犯罪率の比較などは面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Psychology of Abnormal Behavior		異常行動の心理学	
科目設置学部・研究科	PSYC		
履修期間	2023 春		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Dr. Bixi Qiao		
授業内容	世の中に存在する異常行動と考えられる症状をドキュメンタリー番組や様々なビデオを利用して、		
試験・課題など			
感想を自由記入			

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
11 月上旬にボストンでボスカリという留学生向けのキャリアフォーラムが開催されるため、留学中もしっかり準備をして、それに臨めば内定を得ることができると思います。実際、私の友人も内定を得ていました。また、逆に帰国後から本格的に就活を始めた友人も最終的に内定を 6 月ごろに得ていました。大学 3 年生の秋から 1 年間留学をしても内定を得ることはできると思いますが、希望の職種や業界に進みたい場合は、留学前、留学中でも企業分析やオンライン面接などで就職活動をするをお勧めします。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
未定
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
海外の大学院に入学するためには、日本のような学校別の入学試験があるということは珍しいです。基本的に、大学の成績、語学証明書、GMAT などの学力テスト、推薦状などを希望の大学院に提出して、可否が出ます。大学の成績は、TOEFL や IELTS のようにすぐに成績を伸ばすことができるものではないため、なるべく高い GPA を 1 年生や 2 年生の頃から確保しておくことをおすすめします。大学、国によりますが、GPA3.0 以上が最低ラインであるところが多いです。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
私は、海外で働きたいという気持ちがあるため、海外の大学院に進学しようと考えています。もともと、私も就職活動をして、日本企業に勤めようと考えていましたが、留学を経て、考え方が変わり、大学院進学を決めました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入して

ください。例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	IELTS 受験。
	10月～12月	大学内選考。
留学開始年	1月～3月	留学先大学へ出願(語学成績証明書や銀行口座証明、予防接種などの書類提出)、寮やミールプランの希望提出
	4月～7月	ビザ申請・取得、航空券購入(往路)
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	9 月末から 10 月頭にかけて中間試験、12 月に期末試験、期末試験が終わると 3 週間ほどのクリスマスブレイクがある
留学/帰国年	1月～3月	航空券購入(復路)、3 月にある 1 週間ほどのスプリングブレイクの前後で中間試験
	4月～7月	5 月の初週に期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は高校生の頃からアメリカに留学をしたいと思っていたため、大学 1 年生か 2 年生の頃に留学をするつもりでした。しかし、コロナのせいで留学することができず、最終的に 3 年生で留学することとなりました。しかし、具体的にどの地域に行きたいという希望はあまりなく、漠然とアメリカに行きたいと思っていたため、留学先は自分の IELTS のスコアで応募できる場所を選びました。そのため、明確な目的を持つことができずに、留学をしてしまった点は反省すべきところだと思います。もちろん、大学留学をしてよかった点もあります。実際、留学をしたことで、自分が今後どのような人生を歩んでいきたいかを考え、海外の大学院進学という選択肢が増えましたし、英語の力も伸びました。

留学生活に関して、サウスダコタ州のアバディーンという地域は、本当に田舎です。そのため、留學生活の最後の方は特にアバディーンですることはなくなりました(笑) しかし、友達誕生日ではみんなで部屋に集まってパーティーをしたり、週末にはホストファミリーの家に行ったり、ハロウィンやイベントの時には、みんなでバーに行ったりと、楽しいイベントは盛りだくさんです。

留学前に知っておきたかったことに関しては、12 月中旬から 1 月上旬のクリスマスブレイクと 3 月中旬のスプリングブレイクは、無料で寮に滞在することができないということです。そのため、その時期は、留學生全員が旅行に行っていました。実際、私は LA、ミネアポリス、シカゴ、ボストン、ニューヨーク、ワシントン、マイアミ、トロント、モントリオール、ケベックに行きました。ニューヨークでは年越しカウントダウン、シカゴではメジャーリーグ、ボストンでは NBA、マイアミでは、WBC の決勝アメリカvs日本を見てくるなど非常に楽しい思い出になりました。当初、ここまで旅行もする予定がなく、寮に滞在して出費を抑えようとしていましたが、寮に滞在するにもお金がかかると分かり、適当な計画の旅行でしたが、結果的に非常に良かったです。

いろいろな思いで留学をする皆さんだと思いますが、絶対に人生の中でいい経験になると思うので、楽しんでください！